



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市西総合スポーツセンター
 試合区分：成年女子 準々決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：15:15

GAME No. 1004B3

主審：中江 洋美
 副審：北見 義樹

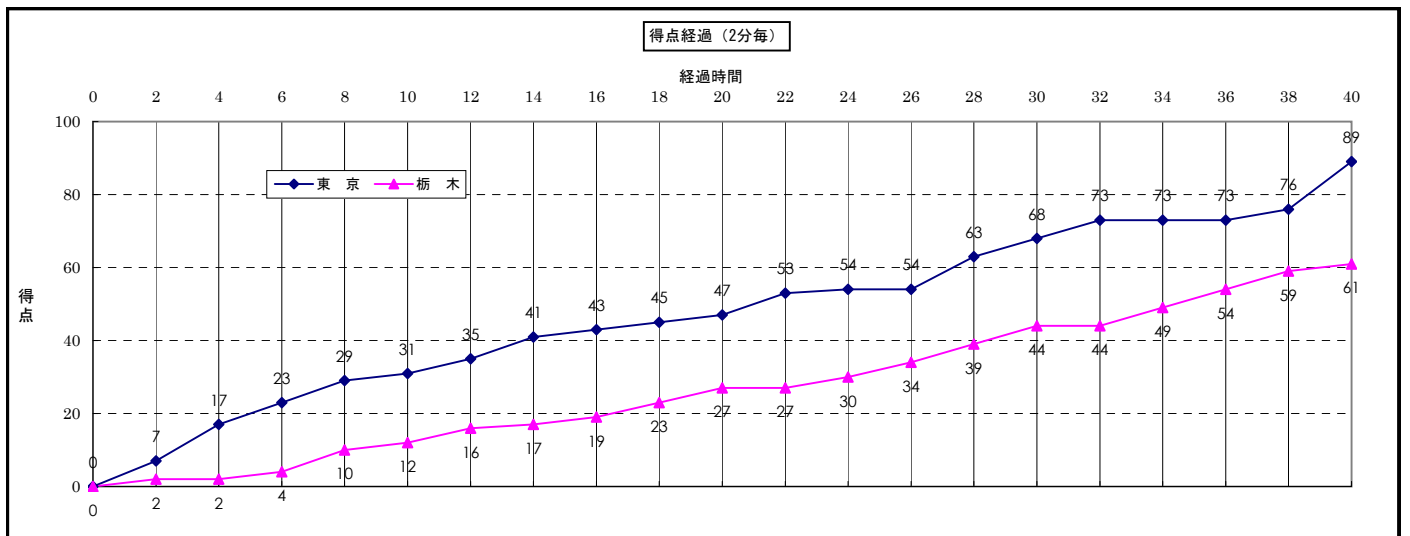
Team A	○	31 -1st- 12 16 -2nd- 15 21 -3rd- 17 21 -4th- 17	●	Team B
東京	89		61	栃木

TEAM A		東京					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	阿形 美由紀	11	1	3	2	2
5	*	櫻木 詠子	34	6	8	0	2
6		成田 聡子	4	0	2	0	0
7	*	矢野 優子	2	0	1	0	0
8		水澤 春奈	5	1	1	0	0
9		松井 涼子	0	0	0	0	2
10		稲本 聡子	6	0	3	0	0
11		深澤 光恵	0	0	0	0	2
12	*	畑中 美保	3	1	0	0	1
13	*	早野 光星	18	0	8	2	1
14		梅澤 裕貴	6	0	3	0	1
15							
Coach		桑田 健秀					0
TOTAL			89	9	29	4	11

TEAM B		栃木					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		藤井 美紀	4	0	1	2	0
5		田中 亜季	3	1	0	0	3
6		柚木 恵子	-	-	-	-	-
7	*	柴原 麻理恵	13	1	4	2	0
8	*	牧原 小枝	8	2	1	0	1
9	*	永野 友香里	4	0	1	2	5
10		久谷 央	0	0	0	0	1
11	*	宮崎 優子	1	0	0	1	0
12	*	上原 希莉子	17	3	3	2	0
13		明智 令育	1	0	0	1	0
14		塚田 麻衣	10	2	2	0	3
15							
Coach		佐藤 智信					0
TOTAL			61	9	12	10	13

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	3:08	-	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q 両チームともにマンツーマンディフェンスで試合が始まる。開始1分、東京 #4阿形がドライブインで先制。1試合ごとに集中力を増す東京が激しいディフェンスで栃木のミスを誘い、一気に流れを作る。#5櫻木、#13早野の連続得点で、残り6分で12-2と栃木を引き離す。栃木も#8牧原、#5田中の3Pで応戦するが、いずれも単発でなかなかリズムが作れない。そのまま、31-12と東京が大きく栃木を引き離し1Qを終わった。

2Q 開始早々、何とか流れを作りたい栃木はディフェンスで激しくプレッシャーをかける。しかし、東京は力強い突破から速攻を連発。#13早野が次々と加点し、残り6分で41-17とさらに栃木を引き離す。栃木はたまたまディフェンスを2:3ゾーンに変更。徐々に流れを引き寄せ、#12上原の連続ゴールで、47-27まで点差を縮め、前半を終わった。

3Q ディフェンスに勢いを増す東京は、開始早々、#5櫻木がスティールから加点。その後も、#5櫻木が連続得点し、開始2分で53-27とし、栃木にゲームの主導権を渡さない。一方、栃木も2:3ゾーンでゴール下を我慢して守り、失点を最小限に食い止める。栃木 #12上原、#14塚田の3Pシュートで、残り3分には55-36と追い上げを図る。残り3分、なかなかシュートの決まらなかった東京も、#5櫻木の3Pシュートを皮切りに次々とシュートが決まりだし、68-44とし、3Qを終了した。

4Q 開始1分、東京はルーズボールにも懸命にとび込み、栃木を圧倒する。#5櫻木のジャンプシュート、#8水澤の3Pシュートで次々と加点し、73-47とする。しかし、栃木も#12上原の闘志あふれるプレーから連続得点。ディフェンスでも粘り強くゴール下を守り、5分間無失点に抑えて、73-57とし、会場を沸かす。残り2分、東京は集中力を取り戻し、#4阿形、#5櫻木が連続得点。最後は、89-61と粘る栃木を突き放し、4強へ駒を進めた。強豪東京を相手に最後まであきらめずに戦った栃木には会場から惜しめない拍手が送られていた。

記載責任者	伊比 康明 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	------------	---------------